Kyoto University
Research Reactor Institute

第4回
京都大学原子炉実験所
原子力安全基盤科学研究シンポジウム

Radiological Issues for Fukushima's Revitalized Future

福島の復興に向けての放射線対策に関するこれからの課題

京都大学 原子炉実験所

原子力安全基盤科学研究プロジェクト

日時：平成27年5月30日（土）～31日（日）
会場：福島市 パルセいいざか

ごあいさつ

森山 裕丈
京都大学、原子炉実験所
所長

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故によって被災された皆様方に謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

京都大学原子炉実験所では、研究用原子炉の特徴を活かし、原子力の安全確保に関わる基盤的な科学研究と教育を包括的に推進する「原子力安全基盤科学研究プロジェクト」を、平成24年から4年間に亘り実施しております。

このプロジェクトの一環として、これまで、毎年1回テーマを決め、国際シンポジウムを京都で開催してきました。最終年度となる平成27年度は、福島大学環境放射能研究所のご後援をえて、福島市の飯坂温泉において「福島の復興に向けての放射線対策に関するこれからの課題」をテーマとして開催させていただくことになりました。

専門家だけでなく、一般の方にもご参加いただき有意義なシンポジウムにしたいと考えております。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

シンポジウムの目的

高橋 知之
京都大学、原子炉実験所
原子力基礎工学研究部門
准教授

東京電力福島第一原子力発電所の事故によって被災された皆様方に、謹んでお見舞い申し上げます。

原発事故から3年以上が経ちました。これまでに様々な形で環境回復が進められていますが、福島の復興に向けて、解決しなければならない課題がまだまだ残されています。これらの課題が関連する分野は多岐にわたりますが、その中で、放射線・放射能に関連する分野の専門家が果たすべき役割は極めて重要です。

このシンポジウムでは、専門家・研究者と、一般の方々が、講演やポスターセッション、パネルディスカッションなどを通して、福島の復興に向けて今後取り組むべき課題について、具体的に議論したいと考えています。

現在想定している主要なトピックスは裏面に掲げておりますが、福島の将来に向けた、幅広い分野からのご発表と、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

シンポジウムについて

プログラムと論文について

プログラムは口頭発表とポスターセッションです。基調講演と口頭発表は招待者のみとなります。下記のテーマでポスターを募集いたします。応募いただいたアブストラクトより、厳選して2016年の春にシュプリンガー出版から発行される論文集に推薦させていただきます。

主要なトピックス（検討中）

1. 除染・廃棄物
2. 環境放射線・外部被ばく評価
3. 環境放射能・内部被ばく評価
4. 発電所サイト内の諸問題

使用言語

英語・日本語（同時通訳あり）

お問い合わせ先

〒590-0494
大阪府泉南郡熊取町朝代西2丁目
京都大学原子炉実験所
原子力安全基盤科学研究推進室 事務局
TEL :072-451-2432
FAX:072-451-2639
E-mail: anzenkiban@rri.kyoto-u.ac.jp

運営組織（確定分）

主催

京都大学 原子炉実験所

後援

福島大学 環境放射能研究所

運営委員会

委員長: 森山 裕丈（京都大学）
副委員長:高橋隆行（福島大学）
副委員長:高橋千太郎（京都大学）

国際アドバイザリ委員会

委員長:山名 元 (京都大学)

プログラム委員会

委員長:高橋 知之（京都大学）
副委員長:塚田 祥文（福島大学）

事務局

事務局長:佐藤信浩（京都大学）
副事務局長:仲谷 麻希（京都大学）

主な日程（予定）

2014年 09月: アブストラクト登録開始
2014年 12月: アブストラクト申込み終了
2015年 05月: 論文投稿原稿締切

費用

参加、論文投稿 無料
懇親会 希望者のみ有料